

# 1 経営の重点（重点目標）に関すること（児童の姿）

学校教育目標	生きる力を互いに高めあう児童の育成 ～三方よしの実践を通して～	自己評価	学校関係者評価	学校関係者委員会の意見
重点目標	<p>☆ 確かな学力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な学習習慣を身につけた児童</li> <li>・基礎基本を確実に習得している児童</li> <li>・課題を持ち自ら考える力を持った児童</li> </ul> <p>【学校説明】            学習指導部が立ち上げられたことで、教員間の共通理解がしやすくなった。            「学びの基本」を確認しながら基本的な学習習慣について指導することができた。            個人差があるので、個々の能力を把握し、個別指導をさらに充実させていきたい。</p> <p>【次年度の改善策】 ・個人差があり、定着できていない子もいるので、最後の一人までスポットを当てる考え方で、さらに個別指導を大切にしていく。</p>	B	B	
	<p>☆ たくましい心身</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を身につけた児童</li> <li>・計画を立てて最後までやり遂げる児童</li> <li>・体力の向上を図り、健康で安全な生活ができる児童</li> </ul> <p>【学校説明】            ・基本的な生活習慣を身につけた児童について            基本的な生活習慣を文部科学省では、「適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠」としている。これらの乱れが学習意欲や気力、体力の低下の要因の一つであると指摘されている。これらは、小学校だけでは支援できないため、各学年で児童にアンケートをとり、実態を把握し、懇談会などで資料をもとに伝えていった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立てて最後までやり遂げる児童について            橘小学校全体を通じて、何事にも一生懸命取り組もうとする児童は多い。来年度も各学年で、日々の授業や生活で、ゴールを定めたり、達成感を味わえたりするような活動を取り入れていく。</li> <li>・体力の向上を図り、健康で安全な生活ができる児童について            登下校がバス通学であることも含め、1日の運動量は全体的に多くないため、各学年で体育の授業や、朝の活動などで運動量をあげるよう指導していく。</li> </ul> <p>【次年度の改善策】 基本的な生活習慣は、学校だけでは身に付けさせることはできないので、児童にアンケートをとり、その結果と改善策を学校便り、または学級便り、懇談会等で伝えていく。</p>	A	A	

重点目標	<p>☆ 豊かな心</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の身になって考え・行動できる児童</li> <li>・協力して温かな人間関係を作ることのできる児童</li> <li>・感動する心を持った児童</li> </ul> <p>【学校説明】</p> <p>児童会活動や道徳の時間などで、児童が主体となって学校の問題や相手の気持ちを考えることができた。しかし、まだまだ三方よしの理解が弱く、具現化されていない点もある。来年度も道徳や学級活動などで相手の気持ちを考えられる児童を育てていきたい。そのためには、まず教員が先頭に立ってよいことをした児童を褒め、それをクラス全体に伝え、お互いを支えあえるような雰囲気をしていく。</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三方よしは機能しているか。</li> <li>・三方よしの理念を児童にどうやって指導していくのか課題である。</li> </ul>
	<p>【次年度の改善策】</p> <p>まずは、道徳教育・学級活動で児童が主体となって物事を話し合える場を多くもち、受動的ではなく、児童から発信できるような三方よしの理解、活動を行いたい。そのために、児童会（児童会役員、委員会活動など）と協力し、取り組んでいきたい。</p>			

## 2 各指導部に関すること（児童の姿）

生徒指導の目標	自分よし、相手よし、みんなよし、の「三方よし」の精神で活動する子の育成	自己評価	学校関係者評価	学校関係者委員会の意見
学習指導	<p>☆ 学習指導 学びの基本をしっかりと身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもつことができる。</li> <li>・考えを発表表現できる。</li> <li>・丁寧に書くことができる</li> <li>・学ぶ姿勢・習慣を身に付ける。</li> <li>・良い本を多く読むことができる。</li> <li>・家庭学習（日記）を習慣づける。</li> </ul> <p>【学校説明】</p> <p>年間指導計画のもと、PDCAを機能させ、月ごとの学習目標達成をめざした。その手だてして、月ごとの学習目標をより具体的に掲示することで、「目標の見える化」を行うことできた。今後、掲示物の成果を確認するとともに、子どもたちにつけたい力を絞り、6年間を通して指導していきたい。</p> <p>【次年度の改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話すのが苦手な子や話したがらない子がいた時に、周りの子が支えていくような集団としての学習力を伸ばしていく。PDCAのAの部分より具体化する。</li> </ul>	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導部が新たに設置されたのがいい。</li> <li>・組織を作ることによって縦のつながりや情報の共有を図ることができる。</li> <li>・学習指導の充実が研修の充実につながる。</li> <li>・学習指導部の評価は定着度調査や全国学力調査でできないか。</li> <li>・普段の授業から見て評価はAである。</li> </ul>
	<p>☆ 図書館指導 学校図書館への期待感をもち良い図書館利用者の基礎を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本を読むことの楽しさを知り読書を習慣化している。</li> <li>・図書館情報を活用し、自分の課題や疑問を解決する力を身につけている。</li> </ul> <p>【学校説明】</p> <p>図書館司書教諭の工夫した図書室運営により、子どもたちが読書に対する意欲を高め、年間を通して読書をしよう意識することができた。さらに、学校図書館が学習センターとしてより機能できるように、学校司書と学年の教員との連携を深めていきたい。</p> <p>【次年度の改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの子が読書を習慣化できるよう、さらなる工夫した図書館運営を目ざす。特に、高学年には知的なアプローチをしていく。</li> </ul>	A	A	

	<p>☆ 生活指導 基本的な生活習慣が当たり前ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔（橘スマイル）で挨拶ができる。</li> <li>・丁寧な言葉遣いができる。</li> <li>・身の回りの整理整頓ができる。</li> <li>・時間の自己管理ができる。</li> <li>・相手の話をしっかりと聴ける。</li> <li>・心身共に健康な体をつくる。</li> </ul> <p>【学校説明】 本年度から月に一度、全学年で自己点検表を基に、月目標や生活習慣を振り返る時間をとった。自分自身で振り返る時間をとることで、現状の反省と来月への目標が明確にでき、効果的であった。</p> <p>基本的な生活習慣は、低学年の時期から繰り返しの指導が大切になっている。教員も、言葉遣いに気をつけると共に、家庭にも学校での取り組みや橘小学校が大切にしている文化を理解してもらい、（言葉遣い、相手にはさんを付けて呼ぶ、時間の自己管理、返事など）学校だけでなく、家庭でも取り組んでいく。PTA総会や学校説明会、入学前説明会などの説明会でも、橘小の文化を伝えていく。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導は学校だけでなく家庭と連携していくことが大切である。</li> <li>・子供を変えていくのには最低3年はかかると考え、粘り強く指導していく。</li> <li>・保護者に学校のルールなどについて繰り返し伝えていく必要がある。</li> <li>・言葉遣いが心配である。特に、女子の言葉遣いが気になる。</li> <li>・睡眠時間が短くないか。</li> <li>・朝ごはんはなぜ必要かなど理論的な話も必要である。</li> <li>・アンケートをとり、これをもとに指導するのもいい。</li> <li>・子供に自己評価させそれをもとに指導することも有効である。</li> <li>・子供自身が居場所を作る力を付けさせたい。</li> </ul>
生活指導	<p>【次年度の改善策】来年度も引き続き、自己点検表を用いて、月に一度自分を振り返る時間をとる。また、児童にアンケートをとった上で、理論的に、睡眠が短かったり朝食をとらなかつたりするとどんなデメリットがあるのかを学校便り、学級便り、または懇談会で伝えていく。橘小学校が大切にしている文化については、PTA総会、学校説明会、入学前説明会で伝えていく。</p>			
	<p>☆ 防災・安全指導 どこにいても自分の身は自分で守れるよう行動できる態度と能力を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の交通安全のために必要な事柄を理解し、自他の生命を尊重し安全に通学できる態度や能力をもっている。</li> </ul> <p>【学校説明】 年に4回の防災訓練（うち1回の抜きうち訓練）2回の不審者対応訓練（そのうち1回は抜きうち）を行い、様々な場合で自分の身は自分で守れるよう指導してきた。回数を重ねるごとに児童の意識も高まり、効果的な指導ができた。登下校では児童間のトラブルが何件か起き、その都度その号車を集めて指導したが、来年度は、トラブルが起きる前に抑止できるように号車別指導の回数を増やし（現3回から6回へ）バスの中での過ごし方を身に付けさせたい。</p>	B	B	
	<p>【次年度の改善策】防災訓練、防犯訓練は本年度同様に行っていく。登下校の指導については回数を3回増やし、問題行動が起きる前に抑止できるようにしていく。</p>			

生活指導	<p>☆ 給食指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事に關する望ましい習慣がある。</li> <li>・会食をして望ましいマナーを身に付けている。</li> <li>・食事や栄養について正しい理解を深めている。</li> </ul> <p>【学校説明】</p> <p>食事の好き嫌いに関しては、低学年のうちに、少しでも食べられるように量を調節して一口でも食べられるように声をかけていった。その結果、苦手なものにもチャレンジして食べる児童が増えた。課題としては、食事マナーがよくない点あげられている。食器を持って食べることや、口の中にものをいれたまま、話しをしないこと、イスと机の間を空けずに食べ、なるべく下に落ちないように指導していく。配膳についても、なるべくこぼさず配膳できるように、教員も近くで見守るようにする。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一口でも少しずつ食べさせることで好き嫌いが減ってきている。</li> </ul>
	<p>【次年度の改善策】好き嫌いに関しては、クラスで一口でも食べられるように担任が支援していく。マナーに関しても、食事をしながら担任から注意していくとともに、家庭にも呼びかけていく。</p>			
	<p>☆ 清掃指導 正しい清掃の仕方を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃用具の正しい使い方を身に付ける。</li> <li>・一人一人が自分の役割に責任をもつ。</li> <li>・協力して掃除をすることの大切さを理解する。</li> <li>・黙って掃除をすることができる（黙働）。</li> </ul> <p>【学校説明】</p> <p>掃除用具の使い方については、師弟同行で教員が見本になって伝えることができた。また、環境美化委員会も各教室に行き、正しい掃除の仕方について、伝えることができた。低学年は、黙働がまだ身に付いていないが高学年は黙働についてできている児童が多い。来年度は黙働を低学年でも徹底させたい。黙働掃除は、掃除に関することについては話してもよいが、掃除以外のことは話をしないことを意識させていきたい。（必要以上に話さない。）教員も一緒に掃除を行い、掃除中は緊急のこと以外は話さず掃除に集中していく。大切なことは、落ち着いた雰囲気、丁寧に掃除を行うことである。教員も児童も意識意識して行っていきたい。</p>	A	A	
	<p>【次年度の改善策】来年度も引き続き落ち着いた雰囲気で掃除するために、師弟同行で掃除を行うこと、黙働で行うことを徹底させたい。</p>			
<p>☆ 保健指導 自分の体に関心を持ち、心身共に健康な身体を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活ができる。</li> <li>・外で元気に遊ぶことができる。</li> <li>・身体・衣類の清潔に努める。</li> <li>・身体と心のバランスについて学ぶ。</li> </ul> <p>【学校説明】</p> <p>毎月曜日には清潔検査を行い、児童にハンカチ、鼻紙を持って来るように呼びかけた結果、忘れていた児童も意識して持ってくるようになった。来年度も毎週月曜日には行うことを習慣化させたい。アンケートの結果から、睡眠時間が短い児童が増えてきていることがわかった。低学年のうちから、睡眠が短いとどういうデメリットがあるのかを、懇談会やおたよりなどで伝えていきたい。また、早寝早起き朝ごはんの習慣についても呼びかけていきたい。</p>	A	A		
<p>【次年度の改善策】毎週月曜日には、清潔検査を行い、清潔に努めたい。</p>				

特別活動	<p>☆ 特別活動 楽しい学校を主体的に作ろうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力して温かい学級づくりができる。</li> <li>・学校生活向上のための児童会・委員会活動ができる。</li> <li>・話し合いのルールを身に付けている。</li> <li>・話し合って計画を立てたり、問題を解決したりすることができる。</li> <li>・学校行事の目的を理解し主体的に参加することができる。</li> </ul> <p>【学校説明】 「集団の中における自分の役割を自覚し、主体的に活動できる子を育てる」を目標に、本年度は特に「学級会活動」に重点を置いた。学級会の仕方を学び、学級の諸問題を解決するために、自分たちで話し合っ解決する方法を理解し、学校生活を楽しく豊かにするために、自分が何をしなければならぬかを考え、活動することができた。児童会活動では、特に児童集いに力を入れ、児童会役員だけでなく、9つの委員会活動、各クラス、個人の特技が発表できる場を設け、「みんなで造り上げる児童集会」として成果を上げた。</p>	A	A	
	<p>【次年度の改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度に引き続き、学年に応じた学級会の持ち方、話し合いの仕方を学ぶ場を設定する。</li> <li>・より児童の主体的な委員会活動を実践する。常時活動だけでなく、集会や掲示物などのPR活動を取り入れる。</li> <li>・異学年交流の充実。仲よし活動や集会活動、学習の場で異学年が交流する場を設定する。</li> </ul>			

### 3 組織運営（教員の姿）

	重点目標達成のための機動的組織運営を機能させるためのマネジメント ・組織を活性化・機能化させるためのリーダーの責任と自覚	自己評価	学校関係者評価	学校関係者委員会の意見
運営組織	<p>☆ 重点目標達成のために組織的な運営を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導部の3指導部が重点目標達成のためのPDCAを行う。</li> <li>・生徒指導部会（主任者会）が機能している。</li> <li>・学校運営委員会が機能している。</li> </ul> <p>【学校説明】 ・主任者会を通してフロアごとの児童の様子を情報交換し、それらをもとに話し合ったことを三領域会で伝達できた。 ・生徒指導部からの提案で指導の一貫性を図れた。 ・各指導部の目標が明確にされた。</p>	B	B	・生徒指導主任が三領域をコントロールしているのがいい。
	<p>【次年度の改善策】 ・三領域の重点目標を2か月ごとにしてPDCAの明確化を図る。主任者会の内容を三領域や職打ち、職員会議等に生かす。</p>			
	<p>☆ 各指導部の長がリーダーシップを発揮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導主任が3部を統括している。</li> <li>・各指導部の長がリーダーシップを発揮し組織的運営を行っている。</li> </ul> <p>【学校説明】 ・児童の実態に合わせて各指導部で指導方法を考えて実行するなど各指導部の長が力を発揮した。 ・各部会で検討がじっくりされた内容が実行されて教育活動に役立っていた。 ・毎月の反省を行い、改善点等を生徒指導主任が取りまとめ、職員に共通理解を図ることができた。</p>	B	B	
	<p>【次年度の改善策】 ・仕事内容や役割をさらに明確にする。・朝礼の話で生活指導だけでなく学習指導の話もして、指導を促進させる。</p>			

研 修	<p>☆ 研修主題「自ら学び、共に追究する子供の育成」を達成するための組織的な研修を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修推進部が研修の方向性を出し研修の推進役を担っている。</li> <li>・研修教科部が授業研究の推進役になっている。</li> <li>・研修主題を検証するための授業研究を行っている。</li> </ul> <p>【学校説明】 今年度は授業研究会を全国に向けて開催することができた。2年間かけて教科における主張、方針、手立ての道筋まで考え、実践することができた。特に「自主的な学び」「協働的な学び」「創造的な学び」の三本柱を立て各教科において取り組むことできたことは、大きな成果だった。</p>	B	B	
	【次年度の改善策】3年計画の最終年度として研修主題「自ら学び、共に追究する子供の育成」のまとめをしていく。			
研 修	<p>☆ 教育学部と共同で研修を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の教員と共同で研修の方向性を協議する。</li> <li>・研究教科部が担当の教員と共に研究を行っている。</li> </ul> <p>【学校説明】 本年度は、研究会を行い大学より6人「国語」「社会」「算数」「理科」「生活」「英語」の助言講師の先生方に御指導をいただいた。教科の特性を生かしながら研究を進めることができ、教員一人ひとりが力をつけることができた。教科における専門性を強め授業力アップに努めた。</p>	B	B	・大学との連携。学生ボランティアがたくさん来てくれるといい。
	【次年度の改善策】今後も大学との連携を図っていく。			
特別支援教育	<p>☆ 特別支援の必要な児童に対して、支援計画を立て、組織的な支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学と連携をしながら児童の実態把握を行う。</li> <li>・児童の実態に応じた支援計画をたて、授業の中で支援を行う。</li> <li>・コーディネータと担任、支援員が協力をして個の支援を行う。</li> </ul> <p>【学校説明】 ・特別支援員が細かく児童観察や記録を取って、支援を行い担任と協力体制を築くことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心理カウンセラーとの連携も図れた。</li> <li>・大学との連携は今後図る予定でいる。</li> </ul>	A	A	
	【次年度の改善策】・常葉大学の先生や学生を招き、児童への支援ができないか検討する。支援の仕方についての職員研修ができないか検討する。			
志の高い教員	<p>☆ 志を高くもち、自己研鑽に励んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共感的な心と笑顔にあふれる教員</li> <li>・わかる授業、楽しい授業のできる教員</li> <li>・強い信念と謙虚さをもった教員</li> <li>・感性、専門性を磨き常に進歩する教員</li> <li>・高い倫理観と高潔な精神をもった教員</li> </ul> <p>【学校説明】 ・研修会に向けて教科部で検討を積み重ね、努力することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会を通して個々の課題を見つけ自己研鑽ができた。</li> </ul>	B	B	・大変多くの仕事を抱えているがそういう中でも外部の研修等を受ける機会を設けてもらいたい。 ・教師間のコミュニケーションをとってもらいたい。
	【次年度の改善策】・研修の教科のみならず、他教科においても授業の改善を図り、1人ひとりが自己研鑽する。			

#### 4 特色ある教育に関すること

特色ある教育（英語教育、オーケストラ学習、情報教育、書道）を行い成果をあげている。		自己評価	学校関係者評価	学校関係者委員会の意見
英語教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に応じた英語の力を付けている</li> </ul> <b>【学校説明】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>低学年は楽しく授業を受けている。</li> <li>中学年は繰り返しの指導、カードを使った指導が機能している。</li> <li>週3時間になり一層習熟しやすくなり、英語が上手になりたいと思う子が多くなった。</li> </ul>	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語はアウトプットが大事。使うことが大事。それができているのでAでいい。</li> </ul>
<b>【次年度の改善策】</b> 1年生から6年生までの系統性を保ち、特に5,6年生の+1の授業の充実を図り、橘小学校の英語を創り、新学習指導要領で変わる公立小学校の英語とは差別化を図る。				
オーケストラ学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に応じた演奏技術を身に付け、合奏する楽しさを味わっているか。</li> <li>オーケストラ学習が、児童同士の良好な人間関係づくりに寄与したか。</li> </ul> <b>【学校説明】</b> 1年生から1人1楽器を担当して、各学年の目標を達成するように練習を進めている。自分のパートを精一杯練習することで、仲間と音楽を作り上げる楽しさや、仲間の大切さが分かっているようだ。12月には、一年の成果を発揮する場としてオーケストラ学習発表会を開催し、成功を収めた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「石の上にも3年」と言うことばがあるが、3年生から4年生にかけての伸びが素晴らしい。</li> </ul>
<b>【次年度の改善策】</b> 各学年のコーディネータという形をとったことが大変良かったため、来年度も続けていく。ソルフェージュの分野は情報を共有していく。				
情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に応じた情報活用技術、情報倫理、プレゼンテーション能力を身に付けたか。</li> </ul> <b>【学校説明】</b> 友達同士の教えあい学習の場を増やすことができた。 質問カードで児童のストレスを軽減することができた。 2020年にむけてプログラミング教材を授業に取り入れて指導することができた。	A	A	
<b>【次年度の改善策】</b> 各学年、各教科との連携を図りたい。個別対応のための学習ボランティアをつけたい。				
書道教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に応じた書写技術を身に付け、日本文化の素晴らしさを体得することができたか。</li> </ul> <b>【学校説明】</b> 1,2年生は月に1度の硬筆指導、3～6年生は週1度毛筆の指導を、専科の教員が行っている。姿勢や筆の持ち方、道具の使い方等基本的な技術とともに、集中して取り組む力も授業の中で身に付いてきている。1月には書初め会を行い、それまでの学習で身に付けた書写の力を発揮する場をつくることで、意識も高まっている。	A	A	
<b>【次年度の改善策】</b> 2年生の終わりから毛筆の導入で使っている「ピっちゃんセット」を「水でお習字半紙+筆」にかえる。「静岡市小中学校児童生徒書初めコンクール」への出品をやめる。				